



Copyright (C)2012 YOMITIME, A Division of Yomitime, Inc. All rights reserved

Vol.194 : 2012年11月16日号

よみタイムVol.194 2012年11月16日発行号

イベント情報



- 近代美術館 (MoMA)
- メトロポリタン美術館
- ホイットニー美術館
- グッゲンハイム美術館
- アメリカ自然史博物館
- リンカーン・センター
- カーネギー・ホール
- マディソン・スクエア・ガーデン
- NYヤンキース
- NYメッツ
- レッドソックス

おすすめ映画情報



連載コラム

[医療]  
先生おしえて!

[スポーツ]  
ゴルフ・レッスン  
NY近郊ゴルフ場ガイド

[インタビュー]  
人・出会い  
WHO  
ジャポニズム  
有名人@NY

[寄稿]  
ハリケーン「サンディー」復興ボランティア  
ロッカウェイビーチで



photo by Yako Maeda

ニューヨーク市立大学ラガーディアコミュニティカレッジの日本人学生会、ニューヨーク周辺大学の日本関係学生会の「仲間ネットワーク」、ニューヨーク日系ライオンズクラブは、11月10日(土)、ハリケーンサンディーの復興支援の一環として、クイーンズ南部のロッカウェイビーチで清掃ボランティアに参加した。ラガーディアコミュニティカレッジの在校生と卒業生10名、ライオンズクラブ会員及びその他勇士数名が集まり、現地のボランティアグループの元で朝から昼過ぎにかけて支援活動に従事した。

夏期はサーフィンやマリンスポーツで賑わうロッカウェイビーチは、ハリケーンサンディーの被害を最も被った地域の一つで、ハリケーンが去ったのち一週間後も地下鉄や電気は全く復旧しておらず、殆どの町の機能は停止したままである。ボランティア参加日の翌日の11日(日)になり、ようやくストリートを歩けるようになった。



Ads by Google

**日本オラクルで働きませんか?**

[www.bizreach.jp](http://www.bizreach.jp)  
期間限定キーポジション大募集 年収1000万以上へビズリーチ

**海外在住バイヤー募集**

[www.buyma.com](http://www.buyma.com)  
未経験OK!在庫持たずに出品 登録無料 日本人と安心取引のBUYMA(バイマ)

**ニューヨークのアパート**

[www.redacinc.com](http://www.redacinc.com)  
マンハッタン・ウエストチェスターの賃貸・売買、駐在員用コンドミニアム

**ニューヨークの現地ツアー**

[newyork.lookto.com](http://newyork.lookto.com)  
安心お得なJTBマイバスツアー。80コースが即時予約できます。

[ニューヨーク]

NY人間模様

世界の目、日本の目

[イベント]

1押しオペラ

[街ネタ]

おでかけナビ

[特集バックナンバー]

よみタイムについて

- 2010年度発行スケジュール
- 情報掲載について
- 発行スケジュール
- 新聞設置場所
- バックナンバー
- 広告料金
- お問い合わせフォーム

は、ハリケーンがJFK近隣の  
 ハワードビーチまで復旧したが、ハワード  
 ドビーチからロッカウェイビーチにつな

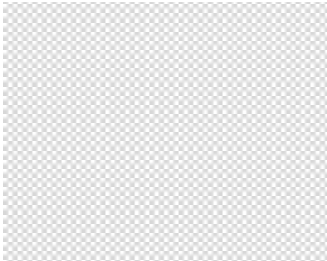


がる線路が流されてしまっているため、それ以上の復旧には数ヶ月かかるという。ハワードビーチ沿岸の住宅街には、洪水で流されてきた砂が山のようにつもっており、どの住居も、玄関前に水に浸って使えなくなってしまった家具や衣類などが置かれている状況で、一週間経った今も、全く通常の生活への復旧の様子は見えていない。ロッカウェイにつながる公共交通機関であるバスも路線変更が多い上、大変込み合っており、路上には壊れてしまった車両なども見られ、移動には非常に時間がかかる。唯一の連絡手段である携帯電話もつながりにくい。マンハッタン周辺では、地下鉄や電気が復旧し、人々は普通の生活を取り戻し始めている風景が見られるが、ロッカウェイは、全くと言っていいほど回復の兆しも見えていない様子だった。ボランティアの活動も、日々の需要にそってボランティア参加者が振り分けられているので、当日になってみないとどのような手伝いが出来るのかがわからない。当日は、現地で活動しているTeam Rubiconに参加して活動したが、ボランティアの経験が豊かなTeam Rubiconのリーダーがそれぞれのグループに一人ずつ付き、活動内容や安全に関する注意事項などを指示してくれていた。

ボランティア当日は、ハリケーンの被害後の最初の週末ということもあり、ボランティアの活動は非常に活発で、ラガーディア日本人学生会以外にも、多くの人が物資を運んできたり、ボランティアの為に現地に入ってきていた。昼時には、ニューヨークの中高校生のボランティアが、水やサンドウィッチを持って歩いている光景がみられたりもした。ボランティアのメンバーの一人前田亜矢子さんは、車で現地入りしたが、ロッカウェイビーチに通じる橋では料金を徴収しておらず、橋を越えた後の光景がゴーストタウンの様になっていたのが衝撃的だったと語る。NY日系ライオンズクラブの加藤脩治氏は、ハリケーンが去った後、最も被害が大きかったブルックリン地区とスタッテン島の海辺に面した住宅地や商店街などで既に三度もボランティアに参加している。加藤氏は、「被災規模の比較は大きく異なるものの、ロッカウェイ通り100丁目付近の大火災の無残な焼け跡は衝撃的で、昨年(2011年)の東日本大震災(311)を思い起こさせられました。US陸軍、NYPD、FDNY、民間ボランティアの車が一同に被災地の現場を歩き交う光景を見ると、とても気持ちが昂ぶります。3時間のボランティア活動でしたが、ニューヨーカーに恩返しが出来た喜びで満足感と、充実した一日を過ごすことが出来た事に感謝致します。世界の表玄関であるニューヨーク、JFK国際空港の直ぐ側に存在する被災地、未だに電気やガスが復旧していない現実に驚きを隠せません。ガソリン不足も追い打ち掛け、大都市ニューヨークの危機が現実となってしまった様です。」と語っている。また、現地で活動するボランティアの人は、電気が復旧していないので、昼と夜の雰囲気はかなり異なるとも語っていた。

ラガーディア日本人学生会、NY日系ライオンズクラブのメンバーは、Team Rubiconに所属する復興支援のリーダーの元で、被災した家を回り、人手のいる作業が無いかどうかを聞いて回った。地下を貯蔵庫として使っていた建物や、一階の高さが比較的低い建物は特に被害が大きく、作業の多くは、地下や一階で浸水してしまった物品を外に運搬したり、不安定になってしまった構造部を取り壊してしまう作業であった。その他、水に濡れて枯れてしまった樹木の処理、ごみと砂に覆われた中庭の掃除なども行った。

ラガーディアコミュニティーカレッジでは、2011年3月の東日本大震災の際に、被災者支援のための募金キャンペーンが行われ、教職員及び学生から\$6,666.46の寄付がNY日系ライオンズクラブを通じて日本の被災地に送られた。今回のハリケーンサンディーの被災支援は、震災の際のニューヨーク市民の支援への感謝の気持ちから、日本人学生会の日本人学生から提案された。ラガーディア日本人学生会やニューヨーク日系ライオンズクラブでは、今後も、ハリケーンサンディーの復旧ボランティアを続けていく予定である。それぞれの団体の詳細は、以下のホームページを参照の事。



ラグーディア日本人学生会 サンディーボランティアのページ: [http://bit.ly/nihon\\_sandy](http://bit.ly/nihon_sandy)  
ニューヨーク日系ライオンズクラブ:  
<https://sites.google.com/site/nyjalionsclub>

「記: 加藤脩治、前田亜矢子、永野友雅」

---

戻る